

【グローバル補助金事業】タイのクラビ病院に医療機器を寄贈（岐阜加納RC）

岐阜加納ロータリークラブ

会長 沢田 誠

奉仕プロジェクト委員長 豊田 真弘

実施日

2019年11月23日 タイのクラビにて研修プログラムを実施

2020年 2月 7日 タイのクラビ病院にて贈呈式

内容

タイのクラビ（Krabi）は、バンコクから南へ空路1時間、人口約45万人。

切り立つ石灰岩の絶壁や多くの島々を巡ることができるリゾート地で、海外からの旅行者が多く、今後の発展が期待されます。



地域にはクラビ病院（Krabi Hospital）という中心病院がありますが、救急救命のための医療機器が十分ではありません。

旅行者・地元住民・子どもなどが事故で心停止となっても、高度な救急救命措置ができないという問題がありました。

そこで、当クラブは、タイのリヨンクラビロータリークラブ（RC of Leung Krabi）と共に、ロータリー財団の「グローバル補助金」を活用し、高度な医療機器を贈ることとしました。

贈呈した医療機器は、「除細動器」「ビデオ喉頭鏡」「AED」です。

さらに、病院の医療スタッフに医療機器の研修会、そして、高校生など一般市民向けにAED講習会も提供しました。

2020年2月7日、クラビ病院で贈呈式が行われました。新型コロナウイルスの影響で日本からの参加はできませんでしたが、当クラブ澤田会長から、贈呈式でのメッセージを送りました。



【グローバル補助金事業】タイの学校へ教材支援及び教員向け指導プログラム 事業（多治見リバーサイドRC・美濃加茂RC・鈴鹿ベイRC）



多治見リバーサイドロータリークラブ
美濃加茂ロータリークラブ
鈴鹿ベイロータリークラブ

2019年2月 国際奉仕活動(基本的教育と識字率向上)

実施日

2019年2月8日 完成引渡セレモニー及び近郊の学校訪問

完成引渡セレモニー：タイ国 ラトチャブリ(Ratchaburi)県 バンポン(Banpong)市 トレーニングセンター(Training site)

内容

6つの重点分野のうち「基本的教育と識字率向上」の分野で、2630地区内3クラブ(多治見リバーサイド・美濃加茂・鈴鹿ベイの3クラブ)とタイ国3350地区シーロム(Silom)ロータリークラブとの共同プロジェクト事業です。

タイ国内の地方の学校88校に識字図書等の教材を支援するとともに、子どもたちを指導する教員に向けて指導プログラムを提供する事業です。タイ国内の14ロータリークラブも資金を拠出しました。私たち2630地区、タイの3350地区、3360地区の地区活動資金(DDF)も加えて、総事業費86,516ドル(約960万円)の大きな事業になりました。

各学校の選定にあたっては、3350地区、3360地区のロータリアンも調査に参加されました。選ばれた88校に識字図書等の教材支援をするとともに、各学校の図書館担当の教員と図書館秘書の2名に、読書の大切さを色々な角度から指導し、又どのようにしたら興味を持って持続的に読書を続けられるか、そして本を大切にすることの伝授など、指導者セミナーがタイ国内各所で行われました。

タイ国の地方ではまだまだ教育資材が行き届いていません。国・地域そして子どもたち本人の未来のためには教育が一番大切です。今の子どもたちに支援を続けていくことは大変意義あることです。



【グローバル補助金事業】タイの小学校への浄水設備設置事業（第2630地区とタイ国クラビRC）

2019年2月 国際奉仕活動（水と衛生）2月9日～11日

事業開催日

2019年2月9日 贈呈式 場所：タイ国 パーン・クロン・ヤイ（Baan Klong Yai）小学校

2019年2月9日 贈呈式 場所：タイ国 パーン・カオ・クロム（Baan Kao Klom）小学校

2019年2月11日 贈呈式 場所：タイ国 パーン・クロン・ヒン（Baan Klong Hin）小学校



内容

6つの重点分野のうち「水と衛生」の分野で、地区として行ったグローバル補助金事業です。2016-17年度から地区奉仕プロジェクト部門委員会（宮崎弘夫委員長）と地区国際奉仕小委員会（篠原一行委員長）が企画、実行しました。タイ3330地区のクラビ(Krabi)で、3つの学校に浄水設備を設置する事業です。

現地では、クラビRCも資金を拠出し、メンバーが学校との調整や設備の施工に尽力しました。すでに2校に設置が終わり、このたび建屋を造っていた1校にも浄水設備の設置ができました。

蛇口から、飲める水、きれいな水が出るということに、子どもたちはとても感激しています。タイの大都市では、多くの学校や施設にこのような浄水設備が設置されていますが、地方ではまだ整備されていません。清潔な水さえあれば、疾病の予防になり、子供の死亡率が格段に低くなります。

また、今回設置した最後の1校は、単に浄水設備を設置しただけではありません。浄水装置はメンテナンスが必要です。メンテナンス費用の捻出方法として、地域住民にこのきれいな水を提供（販売）する仕組みも作ることとしました。



RIについて ▾ 第2630地区について ▾ 地区ロータリー財団 ガバナー月信 クラブのご紹介 スケジュール ▾ 各種資料

奉仕プロジェクト

ホーム > 全社員奉仕プロジェクト > 地区補助金事業「ミャンマーにおける移動図書館事業の推進」

地区奉仕活動 青少年奉仕活動 1月24日

地区補助金事業「ミャンマーにおける移動図書館事業の推進」(松阪山桜RC)

松阪山桜ロータリークラブ
会長 村田耕一
幹事 小濱彰男
実行委員長 立岡秀之

実施日

2020年1月24日（贈呈式＆交流会）

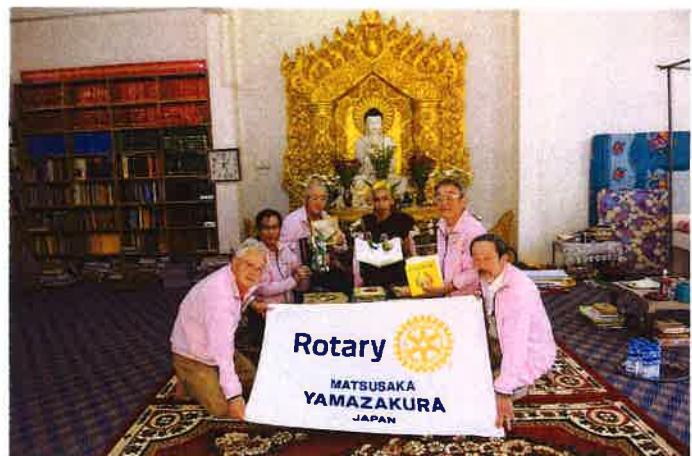
場所

ミャンマー連邦共和国のヤンゴンにおいて



内容

我々は、過去にミャンマーにおいて、ロータリアン有志による小学校建設・寄付を行った経緯があり、今回はそれに継続するソフトの貢献事業として、ヤンゴンの僧院で学ぶ子供たちに、ロータリアンが推奨する140冊の日本の大和心を代表する神話、童話などの絵本をミャンマー語に翻訳し、周到な準備のもと、その贈呈式を行いました。



松阪山桜ロータリークラブを代表し、会長・幹事はじめ5名が、はるばるヤンゴンでの式典に参加、ラグーナ僧院にて贈呈式を行いました。その後、日本語を学んでいる僧院の学生と交流し、近くのサンミッティーダ僧院では、童たちに日本の童謡を披露したり、紙飛行機飛ばし大会、椅子取りゲーム、絵本朗読など、そこで学ぶ子供たちと、楽しく遊びながら学用品の寄贈をしました。



その日の夕刻には、この移動図書館事業に協力していただいた関係の方々（翻訳してくれたヤンゴン大学の学生やNPO法人JAMBOFのスタッフなど）と交流しましたが、特筆すべきことは、今回、ヤンゴン在住の米山奨学生学友会の方々が、偶然、我々の活動を知り、仲間8名を集めて、通訳や交流事業に積極的に協力していただいたことでした。彼女たちは、過去に米山奨学生として、日本の大学に学び、現在はヤンゴンで就職されていますが、大変親日的改めて、米山奨学生制度のすばらしさを再認識しました。



元米山奨学生と現米山奨学生

最後に、我々のこの一連のミャンマーでの国際教育支援活動を、本来は、25周年記念式典の場を借りて、発表させていただく予定でしたが、残念ながら、新型コロナウィルスのため中止になりました。ただ、結果として、大変充実した誇るべき貢献事業であったと思います。

新聞に掲載された記事の紹介

市ヤンゴン市で多い
い子たちが通う僧院(学校)を巡って移動図書館を運営して、
るNGO(非政府組織)に、日本の絵本140冊をヒルマに翻訳して寄贈した。
同クラブは本年度「大和心とヨーロッパ精神の共有共存」をテーマに活動。「本屋
のヤーナ僧院」

山桜RCが絵本贈る

子供に140冊の本の章詰など情操教育に

松阴山楼」「タレ
ラブ（会長）＝村田耕
村田歯科クリニック
長、36人）はこのほ
ミンア

日本人的心のルーツであり、日本古代の昔話や童話などの繪本にも、それ

教育の教材だが、ミヤンマーにはそのような絵本が少ない」（村田会長）と翻訳して贈る(?)ことだ。



員それぞれが思い出深い
絵本を選んで購入・持ち
寄った。昨年5月にヤン
ゴン大学日本語学科の学
生5人に送り届け、有償
で翻訳してもらつた。訳
したビルマ語を貼り付け
て出来上がり。今年1月
下旬に村田会長と立岡秀
之25周年記念事業実行委
員長(株タチオ力代表取
締役)、越山明・直前会
長(不動産業、太田正隆)

寄贈した絵本は「花時
かじいさん」「过了た赤
鬼」「笠地藏」など日本
の昔話を中心に「（ん）ん話
つね」「インソップ童話
なども。移動図書館は松
阪市を拠点で活動する
AMBOE（尾花隆司理事
事長）のヤング・支局（メ
ロ知香支局長）が運営
同僚院など六つの健値院を
それぞれ週2回ずつ巡回
している。

国際ロータリー第2603

四